

### 夏休みが近づいた3

小田和正の曲よりも、どちらかといえば、チューリップの曲のほうが好みに合う年代です。

『青春の影』  
作詞作曲 財津和夫

君の心へ続く長い一本道は  
いつも僕を勇気づけた  
とてもとてもけわしく細い道だったけど  
今君を迎えにゆこう  
自分の大きな夢を追うことが  
今までの僕の仕事だったけど  
君を幸せにするそれこそが  
これからの僕の生きるしるし

愛を知ったために涙がはこぼれて  
君のひとみをこぼれたとき  
恋のよろこびは愛のきびしさへの  
かけはしにすぎないと  
ただ風の中にたたずんで  
君はやがてみつけていった  
ただ風に涙をあずけて  
君は女になっていった

君の家へ続くあの道を  
今足もとにたしかめて  
今日からは君はただの女  
今日から僕はただの男

『サボテンの花』 「一つ屋根の下」 主題歌  
作詞作曲 財津和夫

ほんの小さな出来事に 愛は傷ついて  
君は部屋をとびだした 真冬の空の下に  
編みかけていた手袋と 洗いかけの洗濯物  
シャボンの泡がゆれていた  
君の香りがゆれてた

たえまなくふりそそぐ この雪のように  
君を愛せばよかった  
窓にふりそそぐ この雪のように  
二人の愛は流れた

思い出つまったこの部屋を 僕もでてゆこう  
ドアにかぎをおろした時 なぜか涙がこぼれた  
君が育てたサボテンは 小さな花をつくった  
春はもうすぐそこまで  
恋は今終わった

この長い冬が終わるまでに  
何かをみつけて生きよう  
何かを信じて生きてゆこう  
この冬がおわるまで

この長い冬が終わるまでに  
何かをみつけて生きよう  
何かを信じて生きてゆこう  
この冬がおわるまで

